

だんだん

放送大学島根学習センター
143号



2024年4月発行

〒690-0061

松江市白潟本町 43 スティックビル 4 階
☎0852-28-5500 fax0852-28-1800
✉shimane-sc@ouj.ac.jp



- ◆ 客員教員新任・退任 挨拶 2
- ◆ 客員教員紹介 3
- ◆ 行事の報告 4-9
- ◆ 行事の案内 10-15
- ◆ お知らせ 16-19
- ◆ 同窓会通信 19
- ◆ スケジュール 20



客員教員退任のあいさつ



客員教員 高須 晃（たかす あきら）

私の退任に際し、この場をお借りして皆様にお礼と挨拶を申し上げたく存じます。

放送大学での5年間は、私にとって非常に貴重な経験であり、充実した日々でした。多様な背景や経験を持つ学生の皆様との出会いや交流を通じて、私自身も大きく成長することができました。年齢や学歴、職業に関わらず、皆様が持つ熱意と学びへの情熱に触れるたびに、私は常に新たな刺激を受けてきました。その中で得た経験と学びは、私の今後の人生において貴重な宝物となることでしょう。

ここ数年は、コロナ禍という困難な状況の中で、学生の皆様が自己成長に努め、新たな知識を習得するために挑戦されてきたことに心から敬意を表します。学位や資格の取得は必ずしも容易なことではありませんが、放送大学の教育システムを活用し、自信を持って前進していきましょう。

私は放送大学において、主に地質学や岩石学を担当してきました。退職後も松江に留まりますので、地質や岩石、地球科学、そして地震や火山の災害、気象などに関する疑問や興味がございましたら、お気軽にご相談ください。もし専門外の問題であれば、一緒に学びながら解決していくことも可能です。

最後に、私の放送大学での教育活動に携わっていただいた島根学習センターの所長をはじめ、全ての事務職員の皆様に心より感謝申し上げます。これからも皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

客員教員新任のあいさつ



客員教員 千代 章一郎（せんだい しょういちろう）

今年度から客員教員を務めることになりました。生まれも育ちも京都です。松江は5年目ですが、父方の祖母が松江生まれの松江市育ち。血は争えないのでしょうか、前から知っていたような町です。京都とは歴史的都市という点でも共通点があります。今なお多くの建築が残る松江は、研究の宝庫です。

現在勤めている島根大学では、西洋建築史、日本建築史、現代建築論、都市計画論、建築都市空間論など建築デザインを洋の東西を問わず、また時代のいかに問わず、幅広く授業をしています。研究室としては、近代建築のデザイン手法の研究に加えて、松江を対象とした研究にも取り組んでいます。最近では、松江の茶室・庭園などの実測、松江に多くの建築作品を建設した菊竹清訓の共同研究もしています。また一方で、こどもの建築教育などにも携わっています。どの研究もそうですが、私たちの生活環境をどのように構成するのか、そのつくり方を主題としています。

ちょっと専門的な話をしましたが、本当は建築はもっと身近な存在です。ご飯を食べていても、街を歩いていても、もしかしたら寝ていても建築のヒントがあります。「建築」という言葉は比較的新しく、最初は「アーキテクチュア」を明治日本では「造家」と訳していました。「家」にはどんな歴史があるのでしょうか。世界の「家」はどうなっているのでしょうか。サルには「家」があるのでしょうか。はたまた宇宙ステーションでは？建築学はとても幅広く、そしてどこまでも奥が深い学問です。みなさんと一緒に「建築」という世界の知的な冒険ができることを楽しみにしています。

	<p>荒川正晴客員教授</p> <p>① 大阪大学 名誉教授</p> <p>② 東洋史学</p>	<p>客員教員として島根学習センターに勤務し、5年目になります。私の専門は歴史学で、トウルファンや敦煌と呼ばれるシルクロード上のオアシスから出土した古文書史料を用いて、主に中央アジアと中国の古代史を研究してきました。またシルクロードの交易や東西の文化交流の問題とも取り組んでいます。みなさんが高校で習われた世界史は、おそらく無味乾燥な各国史の寄せ集めだったかと思いますが、それを国家単位ではなくザックリとユーラシア大陸サイズあるいはグローバルレベルで眺めてみましょう。世界の見え方がまったく違ってくるはずです。これから、みなさんの学びのお手伝いができることを楽しみにしています。どうぞ本年度もよろしくお願いします。</p>
	<p>安齋有紀客員准教授</p> <p>① 島根大学 准教授</p> <p>② フランス語学</p>	<p>私たちが日常的に行なっている「対話」という言語活動に関心を持ち、フランス語と日本語を対照しながら、音声によるコミュニケーションに観察される様々な言語現象に着目した「話し言葉」の研究をしています。本務校の島根大学では、フランス語・文化関連の授業を中心に行なっていますが、言語文化圏によってなぜ「ことば」の使い方が異なるのか、複数の言語を対照することでそれぞれの言語の特徴がどのように見えてくるのかなど、「ことば」に関する素朴な疑問について学生とともに考えながら、対照言語学の面白さを伝えようと日々取り組んでいます。島根学習センターでは、フランスの文化や言語の魅力を楽しくお伝えしていきたいと思っております。</p>
	<p>大谷みどり客員教授</p> <p>① 島根大学 特任教授</p> <p>② 異文化コミュニケーション、英語学習における支援</p>	<p>皆さん、こんにちは。昨年より放送大学で客員教員を務めております。私は色々な仕事を経て、いま大学という場で仕事をしています。関心は、異なった文化的背景を持つ人々の間で、どのようにすれば、よりよいコミュニケーションが出来るか、言葉以外に、何が相互理解の壁になりうるのかという「異文化コミュニケーション」と呼ばれる分野と、英語を学ぶ上で、各人が持つ特性がどのように影響するのか、特性をどのように活かせるのか、という点を、支援という側面から考えていく「英語学習支援」の分野です。この二つの領域について、実は個々人が持つ文化的背景や特性が、コミュニケーションや学習に、どのように影響を及ぼすかという点で共通項があります。このような領域に関心のある皆さんと一緒に学べることを楽しみにしています。</p>
	<p>尾崎浩一客員教授</p> <p>① 島根大学 名誉教授</p> <p>② 生物学・分子生理学</p>	<p>私の研究の専門は主に動物の感覚生理学です。材料としてイカや昆虫の眼を用い、動物が生涯ものを見続けることができるためのメカニズムを中心に研究を続けてきました。ゼミナールでは、分子から細胞、組織・器官、個体、個体集団に至るまで、生物学の広い分野から学生の皆さんが自ら興味のあるテーマを選び、それについて論文、図書、ネット等を利用して調査・議論・発表していただきたいと思っています。環境、加齢、感染症など生物学が関わる問題はますます重要になりつつあります。これに対処するためには、一人ひとりが生物学の正確な基礎知識を取得し、それに基づいて自ら考え、議論しなければなりません。ゼミナールでその力を養っていただければ幸いです。よろしくお願い致します。</p>
	<p>千代章一郎客員教授</p> <p>① 島根大学 教授</p> <p>② 建築論</p>	<p>今年度から客員教員を務めます。本務校の島根大学では、西洋建築史、日本建築史、現代建築論、都市計画論、建築都市空間論など、建築デザインについて幅広く授業をしています。研究室としては、近代建築のデザイン手法の研究に加えて、松江を対象とした研究にも取り組んでいます。最近では、松江の茶室・庭園などの実測、松江に多くの建築作品を建設した菊竹清訓の共同研究もしています。また一方で、こどもの建築教育などにも携わっています。島根学習センターでは、興味を持った建築作品について、いろいろな角度からじっくりと検証し、ディスカッションを通して、新しい「建築」の発見をできればと思います。</p>
	<p>村瀬俊樹客員教授</p> <p>① 島根大学 教授</p> <p>② 心理学</p>	<p>昨年度から客員教員を務めています。乳幼児が、母語としての日本語を獲得する過程を中心に研究を行ってきました。また、ことばの獲得に関する日米比較研究に参加する中で、日本文化の中で形作られる「心」にも関心を持ち、他者の心を推測して自分の行動を調節する傾向がどのように形成されていくのかという研究にも取り組んでいます。放送大学で様々な年齢の方と「心」についてお話しをさせていただき、「心」に対する関心の持ち方が、これまでおもに話をしてきた20歳前後の人たちと多少異なることに気づき、新たな研究テーマを得たように思います。皆様と一緒に、人の「心」のおもしろさを考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。</p>

◆ 学位記授与式 ◆

令和5年度第2学期の学位記授与式を3月24日（日）スティックビル3階放送大学島根学習センター第1講義室にて開催しました。

学位記授与式には6名の卒業生が出席されました。所長挨拶に続き、来賓の島根同窓会の竹下会長からご祝辞をいただきました。

卒業生を代表して出雲市の安達一政さんが感謝のことばを述べられ、厳粛な中にも華やかに式典が終了しました。その後、同じ会場で同窓会主催の卒業を祝う会が開催され、卒業生からの感想や同窓会員からのねぎらいの言葉など、なごやかな雰囲気の中で懇談が行われました。

卒業生紹介

卒業生氏名等の掲載を了解された方々を五十音順に紹介します。（敬称略）

放送大学大学院修了

金築 朋子【人間発達科学プログラム】

教養学部教養学科卒業

足立 一政 【心理と教育コース】	石倉 健一 【心理と教育コース】
今岡 博志 【心理と教育コース】	岩崎 勇太 【心理と教育コース】
嘉戸 章宏 【生活と福祉コース】	木下 創介 【心理と教育コース】
斎藤 千賀子 【心理と教育コース】	高橋 義子 【心理と教育コース】
田中 薫 【心理と教育コース】	林 武史 【自然と環境コース】
原 修斗 【生活と福祉コース】	舟木 あゆみ 【生活と福祉コース】
堀山 美紀 【心理と教育コース】	松本 愛理
山根 茂雄 【社会と産業コース】	米山 章 【情報コース】





所 長 式 辞

島根学習センター所長 出 口 顕

ようやく春めいてきた今日、放送大学島根学習センター令和5年度第2学期の「学位授与式」を、ご来賓の島根学習センター同窓会会長竹下靖彦さま、客員教員の先生ご列席のもと執り行うことができました。卒業生・修了生の皆さま、本日は誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆さまには卒業生・修了生の門出の会にご臨席賜りありがとうございます。

放送大学では教室に集まって学ぶ対面授業もありますが、学習の多くはインターネットやテレビを利用して一人で行います。このため、マイペースで学べる反面、勉学への意欲を保つことが難しいと思います。そのような難しさを克服し、長く勉学を続け、今日を迎えられた皆さまに、改めて敬意を表すると共に、お祝いを申し上げたいと思います。

今学期卒業される学士25名・修士1名の皆さまは、面接授業の中止や単位認定試験の実施形態の変更など、新型コロナウイルス感染症に翻弄される生活の中で、学業を続けてこられました。また今年も元旦早々能登半島地震が発生し、かつてない新年の幕開けとなりました。コロナが五類に移行しかつての日常が戻りそうなかで不安な世情が続いたにもかかわらず、無事卒業・修了を果たされた皆さんには、その努力と熱意をあらためて讃えたいと思います。

皆さんは、放送大学での学びを通してさまざまな知識を得られたことと思います。これからはその知識を活用して先の見通せない時代を生き抜いていただければと思います。ではどのように知識を活用すればよいのでしょうか。それは決してクイズ番組を勝ち抜くためではありません。東大王というクイズ番組がありますが、東大で学ぶということとそれは何の関係もありません。知識を身につけるといふことはそういうことではありません。

学んだ知識によって、既存の価値観や常識を疑い、物事の本質を捉え直そうと試みるのが大切なのです。近年の学術書として異例のベストセラーとなった『負債論』という本で、人類学者のデヴィッド・グレーバーは、数多くのエスノグラフィーや考古

学・歴史学の文献を駆使して、経済学者は貨幣の起源を説明するとき、まず物々交換があったというけれど、そういう歴史的・民族誌的事実はないと断言しています。そして、そもそも貨幣とは負債を支払うことが不可能であるという事実の承認であると、経済学者の思い込みを批判・否定しています。グレーバーは、2020年に残念ながら故人となりましたが、彼のこの果敢な姿勢と見識は多くの学者から高く評価されています。

さらに知識を得ることで日常を見慣れないものにするということが大切なのです。

現代フランス社会学の父とも言うべき人物にエミール・デュルムという学者がいました。その甥のマルセル・モースも著名な社会学者・人類学者で「モースは何でも知っている」と言われたほどの人物でした。あるとき、そのモースの授業に出たある学生が、バスの乗客として立っていた時、彼は自分と隣合った人々との間に感知した関係がモースの授業をうけた事実によって変形を蒙ったと話したそうです。モースのもとで学んで、彼を取りまく世界が今までと全く変わって見えただけです。

皆さんにもこのような姿勢を身につけ、日常を見慣れないものにするよう願ってやみません。それは皆さんの生活を豊かにかつ生き生きしたものにするはずです。

本日、学位記を受けられた皆さまにはこの期待をお伝えして私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。





卒業生代表あいさつ

教養学部教養学科 心理と教育コース
足立 一政

春の息吹を感じられる季節になりました。私たち卒業生のために「学位記授与式」を開催していただき誠にありがとうございます。

また、ご多忙中にも関わらず御臨席いただきました皆様、そして御指導いただきました先生方・島根学習センターの皆様に対しても卒業生を代表しまして心よりお礼申し上げます。

私が放送大学へ入学するきっかけですが、私は中学校部活動の外部コーチとしてバスケットボールの指導を23年前から実施しており、現在も会社員をしながら出雲市の部活動指導員として子供たちと一緒に活動させてもらっています。特に多感な年代である中学生を指導していく上で、反発する子、皆の中に入っていけない子、いじめの問題への対処等いろいろな悩みがありました。そんな中、放送大学で「心理と教育コース」があることを知り、自分のペースで学べるならばと選科履修生として放送大学へ入学し、今回足掛け12年で学位を取得することができました。その学びは、中学校の部活指導のいろいろな場面で参考になっています。

毎年、卒業していく子供たちに、応援の「言葉」をいくつか送っており、今年も卒部する部員に送りました。今回、卒業できた私自身への応援メッセージも兼ねて皆様に、ご紹介してみたいと思います。

ひとつ目は、

二股の道 どちらを選んでも その先は また二股の道 『夢』を忘れなかったものだけが

『夢』にたどり着く

で、色々な決断をする機会がたくさんあるけど、自分の目指すものを常に持っておこう、というものです。

二つ目は、

「早く行きたければ一人で行け、遠くへ行きたければみんなで行け」です。これは、アル・ゴア元米副大統領がノーベル平和賞授賞式典の演説で引用し有名になったアフリカの諺です。

私は初めて聴いた時、「一人だったら、早く行けるかもしれないけど限界があり、みんなと一緒にじゃなければ、それよりも遠くに行くことは難しい」と理解し、「目標を達成しよう」という組織には、ぴったりの言葉のように感じました。私たちはそれぞれ役割を持って目の前の勉強や仕事、問題解決に取り組んでいるわけですが、理想的な「みんなで行く」とは一体どういうことなのか、「遠くに行く」とは何を指すのか。また、早く行ったほうがいいとき、「一人で行く」ことを任せられるためには何が必要か。そんな視点でチームを考えることもできそうだな。と、子供たちへの「しつもん」として送りました。今回、これを私自身にも問いかけたいと思っています。

最後になりましたがご臨席の皆様、在学生並びに放送大学の関係者の皆様の今後ますますのご健勝とご発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



卒業生からの言葉

出欠の返信にて、「卒業にあたっての感想」を記入していただいた方々を到着順で紹介します。

斎藤 千賀子さん

4年間で卒業できました。「初歩からの数学」で何十年振りに問題を解いて頭の体操をしたり、「初歩からの宇宙の科学」「太陽と太陽系の科学」で宇宙の神秘にワクワクしたりと楽しい思い出で一杯です。

岩崎 勇太さん

30才までに大卒資格を得たいと思い26才で入学しジャスト4年で卒業できました。人生のターニングポイントとなり大変うれしく思います。4年間楽しかったです。



山根 茂雄さん

択一試験を甘くみていたので、長くかかりました。爺の背中を見て育つ孫のためにも大学生を続けます。今後ともよろしくお願いします。

嘉戸 章宏さん

令和元年に入学し、仕事との両立、コロナ対策等、不安な学生生活でしたが、無事に卒業を迎えることができました。緊急事態宣言でも生涯学習を続けられたこと。とても素晴らしいことだと思っています。新しい学びになりました。私の宝にします。皆様どうも有り難うございました。

田中 薫さん

私自身の仕事に活かすために、入学しました。得られた知見よりも入学し学んでいる姿勢そのものが、最も大切なものであるとわかりました。

神田 千恵美さん

学習センターの皆様、質問の時などいつも丁寧に対応して下さい、安心して卒業まで学びを続けられました。心より感謝申し上げます。

足立 一政さん

思い立ってから10年、コツコツと続けてこれたのは、先輩や学習センターの皆様のお陰です。色々なことに興味が尽きない自分の性格のまま次に向かいます。

今岡 博志さん

今回で3コース目の卒業をする事ができました。「産業と技術」「人間と文化」「教育と心理」の3コースです。この春から「生活と福祉」の4コース目に挑戦します。卒業生の皆様のさらなる学びに期待します。

大賀美 弘子さん

卒業の連絡後、孫の誕生もあり、うれしい春です。学びを続けようと思っています。

石倉 健一さん

ありがとうございました。4月からまたお世話になります。よろしくお願いします。

米山 章さん

6コースの半分、道半ばですが高齢のこともあり一応F i nとさせていただきます。長い間種々御指導ありがとうございました。

原 修斗さん

仕事をしながらでしたが、自分のペースで卒業できたのでとてもよかったです。

松本 愛理さん

仕事と学業の両立が大変でしたが、多くの事を学ぶことができました。
ありがとうございました。

田邊 貴友さん

無事卒業できてホッとしています。これからも色々なことに挑戦していきたいと思います。

高橋 義子さん

当初は、仕事と家庭を両立して卒業や資格取得できるか不安でしたが、マイペースでも学びやすい仕組みと環境で、島根学習センターの皆様にもお世話になり、卒業することができました。ありがとうございました。



◆ 入学者の集い ◆

3月24日（日）、令和6年度第1学期の「入学者の集い」と「入学者ガイダンス（学友会との共催）」を行い、新入生20名の出席がありました。「入学者の集い」には、来賓の松江市教育委員会の藤原次長からのご挨拶と藤嶋学友会会長の歓迎のご挨拶、尾崎客員教授、大谷客員教授から激励の言葉をいただきました。入学者ガイダンス、オリエンテーション（学習の進め方等の説明）の後、学友会の藤嶋会長からのアドバイスや、先輩の体験談などを聞き、新入生はリラックスしながら、熱心にメモを取る姿もありました。

新入生の皆様には、今後の大学生活が有意義なものになりますよう、職員一同支援致します。



◆ 公開講演会 ◆

12月に出雲市で公開講演会を開催しました。

「読むことと書くことの比較文化論」

島根学習センター所長・島根大学名誉教授 出口 顕 氏

- ・日 時 12月24日（日）10：00～11：30
- ・会 場 出雲市役所くにびき大ホール
- ・参加者 37名



2024年10月入学に向けた「入学説明会・相談会」

2024年10月入学の出願受付期間は6/10～9/10の予定です。
入学説明会・相談会のうち、7月までの予定は次のとおりです。

○松江会場	6月23日(日) 10時～、14時～	島根学習センター
○出雲会場	7月7日(日) 13時～	出雲中央図書館
○益田会場	7月27日(土) 14時～	益田市立図書館
○浜田会場	7月28日(日) 10時～	県西部社会教育研修センター (いわみ～る内)

公開講演会

公開講演会を以下のとおり開催します。

「仏教の東方伝来と冥界観」

講師 荒川 正晴氏 放送大学島根学習センター客員教授・大阪大学名誉教授

開催日 6月1日(土) 14:00～15:30

場所 出雲市役所くにびき大ホール

卒業研究・修士全科生希望者ガイダンス

卒業研究は、全科履修生を対象とした選択科目(6単位)です。教員と直接ふれあうことの少ない放送大学にあって、卒業研究は指導教員から直接指導を受けることのできるまたとない機会です。あなたも、卒業研究で主体的に学習する喜びを実感してみませんか。

開催日 6月8日(土) 14:00～15:45

場所 島根学習センター 第2講義室 (スティックビル4階)

内容 卒業研究の概要、履修申請手順 外

出席者 本部専任教員、担当職員(いずれもWeb出席)

申込み 6月1日(土)までに島根学習センターまでご連絡ください。

TEL:(0852) 28-5500

※例年実施しておりました大学院入学希望者ガイダンスは、大学本部において実施しない方針が決定され、代わりに本部ウェブサイト上で資料や動画等を確認いただくことになりました。大学院入学をお考えの皆さんは下記サイトでご確認ください。なお、当ガイダンスには本部専任教員もウェブで参加します。質問のある方はガイダンスに参加し、質問いただけます。

- ・修士全科生入学希望者ガイダンスページ
<https://www.ouj.ac.jp/admission/gakuin/guidance/>
- ・博士全科生入学希望者ガイダンスページ
<https://www.ouj.ac.jp/admission/doctor/flow/guidance/>

島根大学、島根県立大学との双方向「単位互換制度」説明会

単位互換制度とは、大学間で単位互換協定を締結し、他の大学等で修得した単位を所属する大学の修得した単位として認定する制度です。

島根学習センターでは、島根大学、島根県立大学と双方向「単位互換協定」を締結しています。

1. 出願資格

単位互換校の授業科目を履修できるのは、次の3つの要件をすべて満たしている者で、単位互換校へ通学可能な学生を募集の対象とします。

- (1) 出願時、履修時及び単位認定時に全科履修生である者
- (2) 出願時に本学の在学年数が通算1年以上の者
- (3) 出願時に放送授業科目において30単位以上を修得している者

2. 履修できる授業科目

	島根大学	島根県立大学
受講可能科目	原則として医学部を除く島根大学の全ての授業科目が受講可能です。	島根県立大学から毎学期受講可能な学部・科目が提示されます。
受講料	1単位当たり 5,500円 (1科目2単位:11,000円)	1単位当たり 14,800円 (1科目2単位:29,600円)
単位互換校の所在地	【松江キャンパス】 松江市西川津町 1060 番地 法文学部 教育学部 人間科学部 総合理工学部 材料エネルギー学部 生物資源科学部	【浜田キャンパス】 浜田市野原町 2433-2 国際関係学部 地域政策学部 【松江キャンパス】 松江市浜乃木 7-24-2 人間科学部

3. 出願から学習修了までのスケジュール

事項	日程		備考
	第1学期	第2学期	
出願相談 申請書類の提出	～1月下旬	～7月下旬	相談窓口・提出先： 島根学習センター
特別聴講学生 受入決定の通知	3月下旬	9月下旬	単位互換校から本人に通知
講義の履修	4月～9月	10月～翌年3月	場所：単位互換校
単位認定試験の 受験	(履修科目の担当教員の指示を受けてください)		場所：単位互換校
成績通知	9月中旬	翌年3月中旬	単位互換校から本人に通知
単位の認定	10月上旬	翌年4月上旬	単位互換校で修得した単位を 本学の単位として認定

4. 2024年度第2学期の履修説明会を下記のとおり開催します。

開催地区	松江	浜田
日時	2024年6月27日(木) 14:00～15:00	2024年6月28日(金) 13:00～14:00
場所	島根学習センター 第2講義室	島根県西部社会教育センター

・要予約 島根学習センター Tel 0852-28-5500 ☒ shimane-sc@ouj.ac.jp

ゼミのお知らせ

島根学習センター所長、客員教員によるゼミ(学習会)を開催します。
みなさまの積極的な参加をお待ちしています。

【ゼミとは】

所長、客員教員が、専門分野のテーマに沿って開講する、少人数・双方向型の学習会です。講義を聴講するだけでなく、教材をもとに質疑応答を交えながら学習を深めていきます。

学生同士、学生と先生方とのディスカッション等により、コミュニケーション能力（発表および議論の仕方やマナー）、理解力、考え方なども身につけることができます。卒業研究の履修を希望する学生にはお勧めです。

【対象者】島根学習センター所属の学生（学生の種類は問いません）

【会場】島根学習センター 講義室等

【受講料】無料

【単位取得】なし

【内容・日程】【申込方法】同封のチラシをご覧ください。

【担当講師】

客員教員	テーマ
出口 顕 所長	文化人類学の考え方と日本社会
荒川 正晴 教授	歴史学基礎ゼミ ※前回の機関紙でお知らせした内容は変更となっておりますのでご了承ください。
安齋 有紀 准教授	言語と文化—外国語の学びから考える—
大谷 みどり 教授	英語学習における工夫と支援
尾崎 浩一 教授	生物の不思議 ～分子から生態まで～
千代 章一郎 教授	建築のみかた
村瀬 俊樹 教授	実験・調査を通して知る心の仕組み

学 習 相 談

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員等による
対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。



■学習相談票に相談内容を記入し、相談日の3日前までにご提出ください。■相談時間 お一人1時間以内

教員名 (専門分野)	学 習 相 談 日	
荒川正晴 (東洋史学)	4月	12日(金) 13:00~16:00
		19日(金) 13:00~16:00
	5月	10日(金) 13:00~16:00
		17日(金) 13:00~16:00
	6月	7日(金) 13:00~16:00
		14日(金) 13:00~16:00
安齋有紀 (フランス語学)	4月	16日(火) 9:30~12:30
	5月	14日(火) 9:30~12:30
		21日(火) 9:30~12:30
	6月	4日(火) 9:30~12:30
		18日(火) 9:30~12:30
	大谷みどり (異文化コミュニケーション・ 英語学習における支援)	4月
24日(水) 9:30~12:30		
5月		15日(水) 9:30~12:30
		22日(水) 9:30~12:30
6月		5日(水) 9:30~12:30
		19日(木) 9:30~12:30
尾崎浩一 (生物学・分子生理学)	4月	9日(火) 14:00~17:00
		16日(火) 14:00~17:00
	5月	14日(火) 14:00~17:00
		28日(火) 14:00~17:00
	6月	11日(火) 14:00~17:00
		18日(火) 14:00~17:00
千代章一郎 (建築論)	5月	14日(火) 9:30~12:30
	6月	11日(火) 9:30~12:30
村瀬俊樹 (心理学)	4月	13日(土) 13:30~16:30
		17日(水) 13:30~16:30
	5月	15日(水) 13:30~16:30
		29日(水) 9:30~12:30
	6月	5日(水) 9:30~12:30
		19日(水) 13:30~16:30
出口顕 (文化人類学)	随時(出勤日)	

【問合せ】放送大学島根学習センター ✉shimane-sc@ouj.ac.jp
〒690-0061 松江市白潟本町43 スティックビル4階 ☎0852-28-5500 fax0852-28-1800

◆Web 単位認定試験・体験会◆

参照 「学生生活の栞」 教養学部 P.68～78 大学院 P.68～77

Web 単位認定試験

単位認定試験は、Web 受験方式により実施します（郵送受験方式の科目を除く）。自宅等からインターネットを通じて、Web 単位認定試験システムにアクセスして受験します。試験期間中いつでも受験可能ですが、1科目 50分の制限時間があり、各科目1回のみ受験可能です。

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験前までに必ず体験版の操作を行ってください。

（第1学期単位認定試験期間）

2024年度の単位認定試験は試験の実施方法（Web/郵送）および出題形式（択一式/記述式/併用式）によって試験期間が異なります。

実施方式	出題形式	試験日程（郵送試験は提出期間）
Web 試験	択一式科目	2024年7月14日（日）9:00～ 7月22日（月）17:00
	記述式・併用式科目	2024年7月14日（日）9:00～ 7月18日（木）24:00
郵送試験	すべての出題形式	2024年7月14日（日）～ 7月18日（木）《必着》

Web 単位認定試験体験会

島根学習センターでは、操作体験会を下記の予定で実施します。

対象者：島根学習センターでの受験を申請された方
島根学習センター所属の方

- ・ **松江会場** 6月13日（木）、20日（木）、30日（日）
10時～12時 14時～16時

【場所】島根学習センター 第2講義室（4F）

- ・ **浜田会場** 7月4日（木）11時～13時 14時～16時

【場所】いわみーる 島根県立西部社会教育研修センター内（3F）

※浜田会場では、体験会にあわせ、希望者にはシステム WAKABA の操作方法の説明会も行います。（説明会のみ参加もできます。）予約の際にお伝えください。

要予約

申込期間 5/10（金）～希望日の3日前（閉所日除く）

定員 各回4名

申込方法 島根学習センター窓口または電話でお申込みください。

TEL：0852（28）5500

※申込みの際に、学生番号を確認しますので学生証等をご用意ください。

◆ システム WAKABA ◆

参照 「利用の手引き」 P.12-13

「学生生活の栞」 教養学部 P.22-24、 P.109-111 大学院 P.31-33、 P.104-108

放送大学では学修をサポートするため、インターネットを利用した各種システムを提供しています。このうち学生の皆さんがよく使われるのが「システムWAKABA」です。この操作の仕方等について、センターでは毎月1回「インターネット利用教室」において、詳しく説明しています。同封のチラシをご覧ください、お気軽にご参加ください。

放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp>) からシステム WAKABA にログイン



PC版:画面上部ヘッドメニュー
>在学生(WAKABA)



スマートフォン:画面右上メニュー
>在学生 WAKABA



放送大学 認証システム

ログインID およびパスワードを入力してください

初期パスワードから一度必ずシステムにログインできます!

ログインID:

パスワード:

ログイン クリア

ログインID・パスワード(入学許可書に記載)を入力します。
※ログイン後、初期パスワードは必ず変更してください。その後も毎年変更してください。

システムWAKABAをもっと活用していただくために!

◆ 学生のためのインターネット利用教室 ◆

1. 開催日時・場所

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| ・4月24日(水) | 15時~17時 | センター第2講義室 |
| ・5月29日(水) | // | // |
| ・6月26日(水) | // | // |

※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

面接授業は、学習センターなどで他の学生と一緒に講師から直接指導を受ける授業です。放送による授業では体験できない実験・実習の授業も開講しています。

全科履修生だけでなく、選科履修生・科目履修生も履修できます。

■ 面接授業の単位

面接授業科目は、1科目が1単位になります。

■ 面接授業の実施時間帯

1日目		2日目	
時限	時間	時限	時間
1時限	9:50~11:20	1時限	9:50~11:20
2時限	11:30~13:00	2時限	11:30~13:00
昼休憩 60分		昼休憩 60分	
3時限	14:00~15:30	3時限	14:00~15:30
4時限	15:40~17:10	4時限	15:40~17:10

(試験・レポート等 16:25~17:10)

※ 面接授業担当講師の情報を当センターのウェブサイトに掲載しています。また、図書・視聴室にも配架していますので、ご活用ください。

※ 下記の参考図書を読覧することができます。ご希望の方は、事務室でお問い合わせください。

- ・今、日本で求められる英語教育
「特別支援教育の視点でどの子ども学びやすい小学校英語の授業づくり」
- ・子どもの保健
「子どもの保健 第7版 追補」
- ・経済の地方特性について
「荘直温伝 - 忘却の町高梁と松山庄家の九百年 -」「頼介伝」「手仕事の日本」
- ・アンデスの文化遺産と博物館
「アンデス文明ハンドブック」「アンデスの考古学 新版」
「アンデス古代の探求 - 日本人研究者が行く最前線 -」
「アンデスの文化遺産を活かす - 考古学者と盗掘者の対話 -」
- ・ウクライナとポーランドの歴史
「中学生から知りたいウクライナのこと」
「ポーランド・ウクライナ・バルト史 (新版 世界各国史 20)」

■ 学生教育研究災害傷害保険への加入

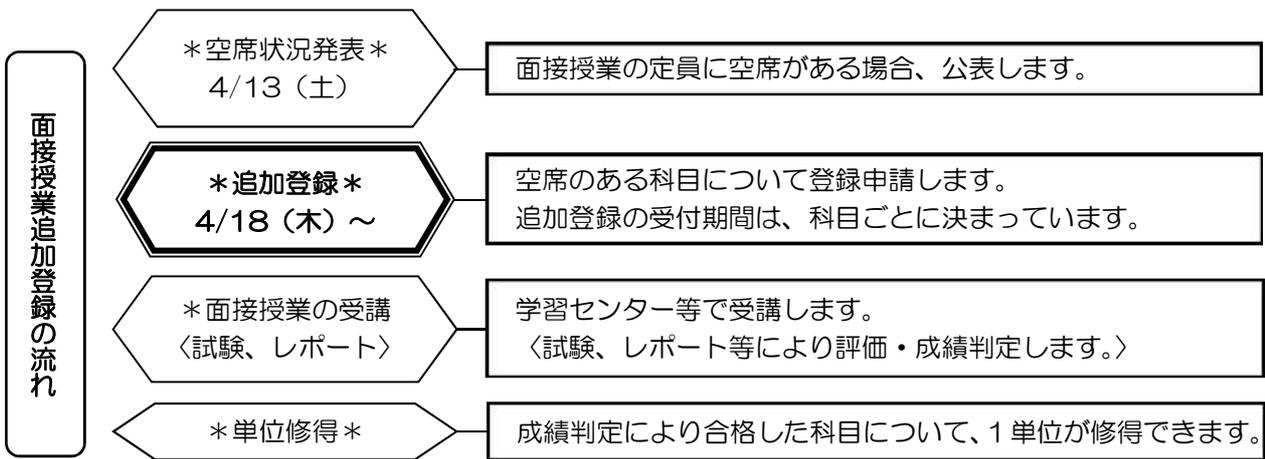
授業概要に「学生教育研究災害傷害保険」加入の記述がある面接授業を受講する場合（第1学期は「山陰地域の内陸地震と活断層」）は、受講する前日までに学習センターで加入の手続きを行ってください。

詳細は、「学生生活の栞」教養学部 124-125 頁をご覧ください。（既に参加している方は、手続きの必要はありません。）

面接授業の追加登録について

教養学部生のみ『学生生活の葉（教養学部）』60ページ参照

「面接授業」の追加登録申請が4月18日から可能となります。
追加登録とは、面接授業の定員に空席のある科目について登録申請することです。
全科履修生だけではなく、選科履修生・科目履修生も履修できます。
学習したい面接授業に空席があれば、ぜひこの機会に追加登録を行ってください。



追加登録の方法

■申請方法

1. 窓口申請：受付初日（4月18日（木））の午前10時までに来所の方を対象に抽選で登録順を決定。それ以降は先着順。（学生証を提示すれば、代理人での登録も可能）
窓口受付時間【火～日】9時30分～17時30分

【必要なもの】

- ① 面接授業科目登録申請書、② 学生証、③ 授業料（1科目 6,000円）
申請書は面接授業時間割表（中国・四国ブロック版）の最終ページにあります。
追加登録期間中は学習センター窓口にも備え付けてあります。
（システムWAKABAから入手も可能）

2. 郵送申請：上記①の申請書、学生証の写し、授業料、返信用の封筒（84円切手貼付）を現金書留により送付してください。
郵送をご希望の際は、事務室までお問い合わせください。
（希望者多数の場合は、来所の方を優先します。）

■追加登録期間

2024年4月18日（木）～ 科目ごとの追加登録受付期限日（原則、開講日の1週間前）

- 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行っていません。
- 各科目の追加登録期間中の空席数・追加登録受付期限日については、システムWAKABA（全国状況）、島根学習センター図書・視聴室掲示板（島根学習センター開設分）で確認できます。（直接お電話でのお問合せも可能です。）

『学生生活の栞』・『利用の手引』（冊子）

『学生生活の栞』は本部より送付したA5版の冊子です。みなさんが放送大学で学ぶにあたってその方法、留意事項、諸手続き等について記してあります。勉学を順調に進めるために、最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。また、巻末に各種届（願）出の様式があります。

『利用の手引』は、島根学習センターが発行している冊子です。島根学習センターの利用方法、学習方法、諸手続きの方法等について掲載していますのでご一読ください。



通信指導

参照 「学生生活の栞」 教養学部 P.64-68 大学院 P.64-68

通信指導は、放送及び印刷教材により行われる授業において、各学期の途中に1回一定の範囲で出題されます。期限までに答案を提出しなかったり、提出しても不合格の場合は、学期末の単位認定試験の受験が認められませんので注意してください。詳細については「学生生活の栞」を参照してください。

忘れずに！

●送付時期 2月下旬～5月上旬

●提出期間

(Web 通信指導による提出の場合)

2024年5月8日(水) 10:00～5月29日(水) 17:00

(郵送による提出の場合)

2024年5月15日(水)～5月29日(水) 必着

※提出については、一部の科目を除き郵送によるもののほか、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web 通信指導」が利用可能です。「Web 通信指導」で通信指導問題の提出(送信)を行った場合には、郵送による提出は不要です(提出されても無効となります)。



西部地域にお住まいの学生のみなさまへ（浜田・益田コーナー）

島根県西部地域に居住する学生も容易に放送教材の視聴、貸出が利用できるように浜田市と益田市に再視聴施設があります。お近くの方はご利用ください。なお、利用時間、利用内容については「利用の手引き」（17頁、18頁）をご覧ください。

浜田コーナー

島根県立西部社会教育研修センター内
（いわみーる3階）



益田コーナー

益田市立図書館内
（カウンターでお問い合わせください。）



★全ての科目を配架してはおりません。浜田・益田コーナーでの視聴を希望する場合は、履修している授業科目の放送教材が配架されているかを、各コーナーまでお問合せください。ない場合は配架を依頼するかパソコンで視聴してください。

★西部履修相談について（予告）・・・8月22日（木）（益田）、23日（金）（浜田）で行う予定です。詳しい日時は次号の『だんだん』でお知らせいたします。

島根同窓会通信 (45)

2024年3月現在 会員数75名

第12回通常総会記念第17回市民公開講座開催します

第12回通常総会を迎え、恒例の第17回市民公開講座を開催します。

今回の企画は、市民の敵“特殊詐欺”について、県内での被害状況とその特徴と対策に焦点を当てて被害状況を把握されている専門家を招き、被害に遭わない方策について学び、危険防止を広く市民に呼びかけたいと考え企画しました。是非友人・知人をお誘いの上お出かけください。

日時 2024年4月27日（土）13:30～15:00

会場 放送大学島根学習センター3階「第1講義室」

講師 島根県松江警察署生活安全課

参加料 無料

第2学期卒業を祝う会を開きました

2023年度第2学期卒業を祝う会を開催しました。今回の卒業・修了者は26人で当日参加は学士6人で、学位記授与式終了後に卒業を祝う会を開催し、ご参加は4人でした。所長、客員教授、同窓会役員、会員、学友会長から祝福され、参加者から卒業の思い出は、就職支援に携わり心理と福祉コースを学び、卒業と認定心理士を手にした。介護現場にいるため生活と福祉コースの学びは参考になった。Webのためセンターに来ることが無くなったので寂しい。全体として面接授業はハイブリットとすべき等が語られました。



アカデミックガウン試着で記念写真

最後に恒例となりましたアカデミックガウン試着での記念撮影は、卒業生2名の方が希望され、専門家による撮影を先輩が見守る中、緊張されながらも祝福される臨場感に感激されていました。撮影された卒業生は同窓会の会員となりました。ありがとうございました。

第12回通常総会を開催します（市民公開講座終了後）

日時 2024年4月27日（土）15:00～16:00

会場 島根学習センター3階「第1講義室」

4月			
日	曜	行事	面接授業
1	月	閉所日	
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月	閉所日	
9	火	【相】尾崎	
10	水		
11	木		
12	金	【相】荒川	
13	土	【相】村瀬	
14	日		
15	月	閉所日	
16	火	【相】安齋 【相】尾崎	
17	水	【相】大谷 【相】村瀬	
18	木		
19	金	【相】荒川	
20	土		●オリンピックの文化史
21	日		
22	月	閉所日	
23	火	【ゼ】安齋 【ゼ】尾崎 【ゼ】村瀬	
24	水	【相】大谷 インターネット利用教室	
25	木	【ゼ】出口	
26	金	【ゼ】荒川	
27	土	【ゼ】大谷	
28	日		
29	月	閉所日	
30	火	閉所日	

5月			
日	曜	行事	面接授業
1	水	閉所日	
2	木	閉所日	
3	金	閉所日	
4	土	閉所日	
5	日	閉所日	
6	月	閉所日	
7	火	【ゼ】千代	
8	水		
9	木		
10	金	【相】荒川	
11	土		
12	日		●経済の地方特性について
13	月	閉所日	
14	火	【相】安齋 【相】尾崎 【相】千代	
15	水	【相】大谷 【相】村瀬	
16	木		
17	金	【ゼ】出口 【相】荒川	
18	土		●心理学実験2
19	日		●山陰地域の内陸地震と活断層
20	月	閉所日	
21	火	【ゼ】尾崎 【相】安齋	
22	水	【ゼ】村瀬 【相】大谷	
23	木		
24	金	【ゼ】荒川	
25	土		●今、日本で求められる英語教育
26	日		●建築遺産の空間学
27	月	閉所日	
28	火	【ゼ】安齋 【相】尾崎	
29	水	【相】村瀬 インターネット利用教室	
30	木		
31	金	【ゼ】大谷	

6月			
日	曜	行事	面接授業
1	土		●子どもの保健
2	日		
3	月	閉所日	
4	火	【ゼ】千代 【相】安齋	
5	水	【相】大谷 【相】村瀬	
6	木		
7	金	【相】荒川	
8	土		●インクルーシブ社会の障がい学
9	日		
10	月	閉所日	
11	火	【相】尾崎 【相】千代	
12	水		
13	木		
14	金	【ゼ】出口 【相】荒川	
15	土		●ウクライナとポーランドの歴史
16	日		
17	月	閉所日	
18	火	【相】安齋 【相】尾崎	
19	水	【相】大谷 【相】村瀬	
20	木		
21	金	【ゼ】荒川	
22	土		●基本的人権保障の現代的課題
23	日		
24	月	閉所日	
25	火	【ゼ】尾崎 【ゼ】安齋	
26	水	【ゼ】村瀬 インターネット利用教室	
27	木		
28	金		
29	土	【ゼ】大谷	●日常のなかのフランス語
30	日		

開所時間 9:30~17:30

4月からは以下のメンバーになります。どうぞよろしくお願ひします。

所長 出口 顕 事務長 平野 英夫

事務職員 渡辺 裕和 (広報) 浜田 佳子 (教務) 船越 紗綾華 (総務・会計) 坂根 智美 (教務) 森脇 多江子 (学生・教務)